

2020年度

事業報告書

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

目 次

事業の概要	(1)
Ⅰ. 公益事業	(1)
1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業(くにたち市民芸術小ホール)…	(1)
2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業 (くにたち郷土文化館)	(3)
3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業 (くにたち市民総合体育館)	(5)
4. 共通公益事業 (総務課)	(6)
Ⅱ. 収益事業等	(6)
1. 付帯サービス事業	(6)
2. その他の事業	(7)
Ⅲ. 管理 (法人管理事業)	(7)
1. 役員及び役員会等に関する事業	(7)
事業の内訳	(8)
1. 自主・共催事業	(8)
(1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業	(8)
(2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業	(1 2)
(3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業	(1 6)
(4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業	(2 0)
(5) 財団広報誌「オアシス」の発行等	(2 0)
(6) 総合評価	(2 2)
2. 指定管理事業	(2 4)
(1) 市民芸術小ホールの利用状況	(2 4)
(2) 国立市古民家を含む郷土文化館の利用状況	(2 6)
(3) 市民総合体育館の利用状況	(2 8)
(4) 有料公園施設等の利用状況	(3 0)
3. 管 理	(3 2)
(1) 役員及び役員会等に関する事業	(3 2)

事業の概要

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団は、定款に掲げた文化・スポーツ事業等を企画実施し、市民芸術小ホールなど3施設を中心とする管理・運営、諸活動を基本としながら、広く芸術・スポーツによるまちづくりを行っております。

その際、次の3点を重要課題として位置付けました。

○芸術小ホールの事業では、市民が舞台鑑賞のみならず出演や参加をする機会を設けることで、新たな価値観や人生の豊かさを享受できる事業を行います。

また、乳幼児を抱える子育て世代の市民、高齢者、しょうがい者、外国人、引きこもり者などが地域での活動に参加しやすくする社会的包摂機能を芸術文化が担う方法を模索していきます。

さらに外部助成金獲得や芸術団体との共催・連携で、より芸術的価値とスケール感ある事業を実施していきます。

○郷土文化館では、谷保天満宮、本田家住宅、旧国立駅舎、古民家などに代表される市内に現存する有形・無形の歴史的文化的遺産は、市民が国立市に強い誇りと愛情を感じる気持ちを育む重要な要素の1つです。これらの歴史的文化的遺産の適切な保護と活用は郷土文化館を中心に行い、将来にわたって市民共有の財産として守っていきます。

○市民総合体育館では、小学生から大学生、社会人、高齢者も含め様々な団体出演を呼び掛けて東京五輪音頭2020の映像を作成し、YouTubeにアップするとともに発表会を行います。

また、高齢者は健康に対する関心が高く、総合体育館事業への参加も多いですが、今まで試行として開催してきたインターバル速歩の講習会を高齢者向け事業の柱の一つとして、参加者の増加を図っていきます。

このような視点を持ちながら、2020年度は以下のような事業を展開しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自主事業及び貸館事業が多大な影響を受けました。

I. 公益事業

1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業（定款第4条第1号）（くにたち市民芸術小ホール）

○館内利用者数 22,388人（目標数68,000人）

ア. 芸術文化事業

芸術小ホールでは、芸術環境創造事業 9事業、芸術振興事業15事業、その他を5事業の、計29事業を実施予定でしたが、新型コロナウイルス拡大の影響によりそれぞれ5事業、8事業、1事業の計14事業の実施にとどまりました。主催共催別では主催10事業、共催4事業を実施しました。

（ア）芸術環境創造事業

地域の芸術的リソースを活かすこと、また芸術を通じた地域とのつながりをつくることを目指した事業を行いました。また、ビエンナーレに代わる新規事業の調査・検討のため、アーツカウンシル東京の協力を得て「（仮称）くにたちアートプロジェクト事業」を立ち上げ、検討会を開催しました。

① 教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

多摩エリアでの文化創造拠点として多岐にわたる活動を行う、たちかわ創造舎による乳幼児からおとなまで楽しめる演劇公演は5年目となりました。実施した2回のうち1回は東京オリンピック・パラリンピック文化プログラムとして（公財）東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京の助成を受けました。閉館明け間もない時期の開催有無・方法について

て慎重に出演側と検討を経ての実施でしたが、その姿勢や体制についてアーツカウンシル東京から高い評価を得、今後の舞台芸術運営に明るい兆しを見出したとのコメントをいただきました。

② 学校教育との連携事業

地域の発展と人材育成に関する、国立音楽大学と国立市による包括連携協定に基づき行われている「くにたちデビューコンサート」は、これからの音楽芸術を担う若手音楽家に発表の機会を与える育成支援事業として1公演を行いました。席数を半分にしたことから2回上演としました。音楽・バレエ・朗読・映像を駆使した観客を引き込む演出を施し芸術普及に貢献しました。

③ 地域の芸術文化資源を活用した学び・体験事業

市内および近隣在住の講師による市民一芸塾では初心者に向けた2講座「まるっとわかる！ドラムセット」「衣類のかわいいお繕い ダーニング」を通し、講師・参加者双方が学びあい交流する場の創出を行いました。当初予定の「鍵盤ハーモニカ」講座、また前年度実施の講座制作作品を展示する「市民一芸塾作品展」は中止・延期としました。

「放課後ダイバーシティダンス」は2019年度から東京都の事業として実施し、本年度からは当財団も共催団体として参加しました。市内の小学生と様々なダンス関係者が、第一線で活躍するダンス専門家集団の力を借りて作品を創り市内および都内で上演予定でしたが事業を中断し、2021年度に縮小して実施となりました。しかしながら参加していた子どもたちのため、急きよ芸小ホール主催でワークショップを実施し機会の活用を図りました。

(イ) 芸術振興事業

国立市文化芸術条例を踏まえ、誰もが文化芸術に親しみより深くかかわりを持つ機会を提供するとともに、鑑賞と交流の拡充を図る事業を行いました。

① 芸術文化の創造事業

一般財団法人地域創造の支援プログラムとして実施した「公共ホールクラシック音楽活性化支援事業」では、金管カルテットによる地域でのアクティビティ（アウトリーチ）と演奏会を行いました。アウトリーチは国立七小4年生2クラス、五小4年生2クラスの計4回を実施し、アーティストと身近に接する貴重な機会を提供しました。その子どもたちが演奏会にも多く来館し、地域ぐるみの取り組みとなりました。

「Xenakis et le Japon」は海外アーティストの来日が叶わず縮小しての開催でしたが、若手演奏家たちによる赤ちゃんから入れる無料のワークショップや公開演奏等により、閉館明けの当ホールに勢いとにぎわいをもたらしました。

「多和田葉子複数の私」は、2021年度市民参加オペラ上演を目指し市民ワークショップ等を実施予定でしたが1年延期となり市民ワークショップ・稽古等も未実施となりました。しかしながら企画・作曲・キャスティング等の準備作業は進めることができました。また代替事業として作品の創作活動実施を目的としたファミリー向け音楽会「太陽のタネ」と同タイトルの芸小初の映画製作を行いました。音楽会、映画とも今後国内外での展開を図っており、創作クリエーションができる地域ホールとしての実績を広く知らしめるきっかけづくりができました。

② 芸術文化の継承事業

「フレッシュ名曲コンサート(室内楽)」は東京都歴史文化財団（東京文化会館）との共催で良質なクラシック音楽に気軽に触れていただく場として開催しました。東京音楽コンクール等受賞歴を持つ若手ながら実力派として人気を博している4名のピアノアンサンブルが好評を得ました。また定番となった「ホール寄席」「くにたち市民オーケストラ ニューイヤーコンサート」とともに、いずれも客席定員数50%とするほか感染症対策に留意しての実施で、芸術振興の歩みを止めない姿勢に多くの参加者から賛同をいただきました。

③ 芸術文化の交流・支援事業

「スタジオコンサート」は3回実施され、気軽に聴ける機会ながらいずれも実力派そろいのラインナップに50%定員減の客席はすべて売り出し直後に完売となりました。また「すたじお寄席」は、レギュラーメンバーから4人目の真打が輩出され、演者を育てる観客という両者の関係性が活かされる事業として定着しています。

④ 創客、利用拡大事業

「ランチタイムコンサート&ステージ」「クリスマスコンサート」は誰でも楽しめるステージとして定着し、定番事業となりました。開館後8月から再開し、客席数を減らし整理券制で、出演者への演奏機会の提供と市民に様々な音楽・ステージを楽しんでいただける機会を滞らせることなく実施しました。

「ホールとグランドピアノのシェアプログラム」は毎回受付から数日で予約が埋まる人気事業となりました。多くの市民に利用がいきわたるよう1申込1枠の利用制限を行うなど運営方法の見直し、工夫を行いました。

(ウ) その他

① 自主事業、連携事業企画調査事業

広報の効果を上げ活性化を行うため前年度導入のSNS（ツイッター）、メールマガジン等の活用を図りました。また閉館時から動画投稿サイトを活用し、過去の事業紹介やPRに努めました。

② 実行委員会参画事業

定番となった「くにたち音楽祭」「吹奏楽フェスティバル」、「ファミリーフェスティバル」、くにたちギャラリーネットワーク連携の「美術講演会」はいずれも中止となりましたが、事業の目的等に照らし合わせ各実行委員会毎に真摯な検討を行いました。「わくわく子どもフェスタ」については規模を縮小し開催しました。

イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

2020年度の市民芸術小ホールの施設利用件数及び利用料収入総額については、前年度と比べて利用件数で36.1%減の926件、利用料収入額は28.4%（4,900,890円）減の12,362,300円となりました。利用件数減の主な要因は、新型感染症拡大に伴う閉館、定員制限および利用者によるキャンセルと考えられます。

施設の老朽化に伴う修繕費は2020年度も増加傾向にありました。指定管理者が自主的に対応する小額修繕には都度対応を行っていますが不測の事態への対応体制も求められています。数年後に控えた設備・機構・構造等大型改修を鑑みつつ、日常的な修繕への対応が常に求められています。

2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業(定款第4条第2号)(くにたち郷土文化館)

○館内利用者数 **13,156人**（目標数25,000人）

郷土文化館では、自主事業29、共催事業4の合計33事業を実施しました。

事業内容は常設展示事業4、企画展示事業5、資料収集・調査・研究事業7、講座事業11、市民が参加及び体験する事業として、郷土の伝統文化を学ぶ体験事業3、郷土の自然環境を学び体験する事業3となっています。

ア. 郷土文化館事業

(ア)郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保存、調査研究、教育支援のための事業

① 展示事業

新型コロナウイルス感染拡大防止対策による臨時休館措置のため、旧国立駅舎再築オープンに併せて駅舎が創建された頃のまちの様子や開発状況を紹介した「赤い三角屋根誕生」は、2日間のみで開催となりました。そのため規模を縮小して、当館及び国立市所蔵のみの資料によるミニ展示「国立駅開業と国立大学町の開発」を代替の展示として実施しました。また、紙を素材にして様々な創作品を紹介し、市内で創作活動をしている各グループと共催で大人から子どもまで楽しめる体験事業も行った「第23回紙の工芸展」、日本で最初の知的しょうがいしゃのための福祉施設である滝乃川学園に関する資料について写真資料を中心に紹介した「写真にみる滝乃川学園」、市内の公私立小学校の3年生を対象とした民具案内と連動した冬季企画展「むかしのくらし展」の計5回の展示事業を実施して延べ約7,000人を超える観覧者がありました。

② 講座事業

それぞれの企画展に関連したワークショップ、講演会、鑑賞会等を開催し、展示テーマへの関心を高める機会としました。本年度は人数を制限したため、参加できなかった人に対して、ビデオ撮影によりホームページからご覧いただけるようにもしました。

(イ) 市民が参加及び体験する事業

① 郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

伝統行事など、市民が主体になり楽しむ事業を展開しました。市内の公私立小学校の3年生を対象にした恒例の民具案内は、2020年度も公立小学校8校、私立小学校2校の合計10校、500人近くの児童生徒を迎えることができ、冬季企画展「むかしのくらし展」の見学と合わせ、郷土の歴史と民俗を体験的に知る機会としました。今回は、コロナ禍ということもあり、10校中4校は出張授業で対応し、来館した学校に対しても内容を一部縮小して実施しました。

② 郷土の自然環境を学び体験する事業

市内NPOの協力をいただき、主に小学生を対象に、体験や観察を主体とした「くたち自然クラブ」事業等を実施しました。

イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

2020年度の郷土文化館の入館者数は13,156人で2019年度と比較して4,319人、24.7%の減となりました。また、2020年度の古民家の見学者数は8,349人で2019年度と比較して2,886人、25.7%の減となりました。郷土文化館及び古民家の減は、いずれも新型コロナウイルスの影響により、4、5月の臨時休館、里山フェスタ等のイベントの中止による影響と思われます。

郷土文化館・古民家の施設・設備等の利用料収入は、2020年度は978,500円で2019年度と比べ191,200円、16.3%の減となっております。なお、市主催事業の減免措置については、7.4%の減となっております。事業収入等の状況は、2020年度は1,130,320円で、2019年度と比べ556,350円、96.9%の増となっており、これは新たに旧国立駅舎で図録等を販売したところによるものです。

ウ. 市内遺跡整理調査業務受託事業（定款第4条第5号）

市内遺跡整理調査業務受託事業として、国立市から2019年度市内遺跡緊急調査の整理及び報告書の作成業務を受託し、完成させました。

3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業(定款第4条第3号)

(くにたち市民総合体育館)

○館内利用者数 120,031人(目標数210,000人)

ア. スポーツ及びレクリエーション事業(定款第4条第3号)

総合体育館では、自主が20事業60回、共催5事業5回、他組織への協力が2事業2回で合計27事業67回を企画しました。しかし、新型コロナウイルスのため21事業27回を中止にしました。自主事業は広報・参加申込・抽選・結果通知・参加費支払いと事業開始までに時間がかかるため、コロナの影響はより大きかったと思われます。6月までの事業はすべて中止しました。7月以降に事業は再開しましたが定員を50%とし、11月以降は75%にしました。このため事業を開催すればするほど赤字が拡大していきましたが、市民にスポーツの場を提供することを優先し再開することとしました。

共催事業ではくにたちウォーキングは開催しましたが、くにたちファミリーフェスティバルとスポーツ講演会(3事業とも国立市体育協会と共催)を中止にしました。ダンスコレクション(ダンスコレクション実行委員会との共催)は、2019年度が中止になったため当初は9月に予定していましたが、感染拡大のため延期して3月に開催することができました。入場定員は半分とし、出演者数も制限しました。

イ. 指定管理事業(定款第4条第6号)

総合体育館利用者数(南市民プラザトレーニング室を含む)は個人が74,155人(36,595人、33.0%の減)、団体が45,001人(31,887人、41.5%の減)でした。新型コロナウイルスのため前年度の3月から利用は体育室の申込済の貸切利用のみとしてきましたが、緊急事態宣言の発出を受け4月10日からは窓口も含め全面休館としました。6月1日から体育室を開室し、その後、室内プール・トレーニング室と順次開室しました。ただし、利用定員を自主事業と同様に再開当初は50%とし、11月から75%としたため、利用者は大きく減少しました。また、トレーニング室ではマシンの数を減らしマシン間を広く開けましたが、このためリフレッシュ体操のスペースがなくなり中止としたため、特に女性の利用者が大きく減少しました。

総合体育館の個人及び団体利用の利用料収入は25,977,970円で、2019年度と比べて7,834,070円、23.2%の減収でした。この中で貸切利用の減少率が8.6%に対し、個人利用は27.3%と高く、特に回数券の利用者は一般で30.0%、グリーンパスで40.2%の減少率でした。リフレッシュ体操に参加していた方の減少が、利用料収入の減少にも反映しています。

有料公園施設等の利用状況は、3箇所あるテニスコートは、25,114時間、利用率は71.1%、3箇所の野球場は、6,287時間、利用率は52.8%、サッカー場は、1,504時間、利用率は、46.6%でした。利用料収入は、テニス、野球、サッカーの合計で、17,249,725円で、2019年度と比較して886,925円、4.9%の減収でした。減収の理由は、総合体育館と同じく新型コロナウイルスのため4月8日から5月6日まで施設を閉鎖したためです。

ウ. 学校開放受付業務受託事業(定款第4条第5号)

国立市立小・中学校(11校)の体育館と校庭の施設開放事業を国立市から受託して行いました。

エ. 特定保健指導における運動継続支援業務受託事業(定款第4条第5号)

国民健康保険が実施する特定保健指導における運動継続支援業務を国立市から受託し、

40歳から65歳の市民を対象として健康増進に寄与しました。利用者数は延340人となり、2019年度と比べて120人、26.1%の減になりました。新型コロナウイルスのため休館したことと、利用者の外出自粛が要因です。

4. 共通公益事業(総務課)

ア. 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業(定款第4条第4号)

市民団体等からの申請にもとづき、助成選考委員会にて厳正な審査を行った結果、市民団体が実施している事業で、広く市民に公開している「くにたちふれあいコンサート」など2事業に助成しました。

・助成団体 2団体 ・助成金額 330,000円

イ. 財団広報紙「オアシス」の発行等事業(定款第4条第7号)

各館の事業を中心に、年6回隔月に財団広報紙「オアシス」を発行し、市内全世帯に配付するとともに、広く財団の事業内容などをお知らせするため、ホームページに掲載しました。また、ホームページの内容の充実を実施しました。

ウ. 指定管理事業(定款第4条第6号)

総務課は各館の指定管理事業に関わる予算編成、予算執行管理等を適正に行いました。

II. 収益事業等

1. 付帯サービス事業(定款第4条第2項)

ア. チケット販売事業

市民芸術小ホールを借りて利用する団体等から受託して、受託販売手数料を得て、音楽・演劇等のチケットを販売する事業ですが、2020年度は受託0件でした。

・2020年度の受託団体数 0団体(0件) 受託販売手数料 0円

イ. 飲料水等販売事業

①市民芸術小ホール来館者への付帯サービスとして、飲料水等自動販売機を設置し、販売しました。

・2020年度の販売額 183,716円 ・販売数4,540本

②郷土文化館来館者への付帯サービスとして、ショーケースを設置し、健康飲料水等を販売しました。

・2020年度の販売額 120,810円 ・2020年度末棚卸額 9,803円

ウ. グッズ等販売事業

郷土文化館来館者への付帯サービスとして、特別展等で販売した記念グッズ(手ぬぐい、バッジ等)を中心に関連商品を販売しました。

・2020年度の販売額 466,600円 ・2020年度末棚卸額 1,215,808円

エ. 体育用品の販売事業

総合体育館の施設利用者への付帯サービスとして、ピンポン球、バドミントンシャトル、水泳帽、ゴーグル等の体育用品を販売しました。

・2020年度の販売額 251,040円 ・2020年度末棚卸額 99,026円

2. その他の事業

ア. 公益事業外の施設貸与事業

市民芸術小ホール施設及び市民総合体育館の施設利用について、国立市との協定に基づき、その他の施設貸与事業として、学校等の卒業式等および成人式等への貸付を行いました。

Ⅲ. 管理（法人管理事業）

1. 役員及び役員会等に関する事業（定款第4条第7号）

理事会、監査、評議員会を、定款に基づき開催しました。

- ・理事会 3回
- ・評議員会 3回
- ・中間監査 1回、決算監査 1回

以上が、2020年度公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の事業の概要です。今後の財団運営に当たっては、市民参加の事業展開を図り、効率的な経営を目指して、一層の努力をしてまいります。

事業の内訳

1. 自主・共催事業

(1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業（定款第4条第1号）

〔市民芸術小ホール〕（決算額 27,985,940 円）

(ア) 芸術環境創造事業

①教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

計画事業 通し番号	報		
	事業名	自主・共催	実施日・期間
○ 1	芸術文化で地域と福祉をつなぐライフステージ事業 123&◎シアター（計2回×2公演） ①「かいじん二十面相からの挑戦」 ②「アラジンと魔法のランプ」	主催	①8月22日 ②11月29日
2	歌う芸術小ホール！Inスタジオ	主催	【コロナウイルス感染予防のため中止】
● 3	(仮称)くにたちアートプロジェクト事業	主催	①9月17日(検討会) ②12月4日(オープンセミナー第1回)

②学校教育との連携事業

○ 4	くにたちデビューコンサート	主催	3月27日
● 5	公共ホール音楽活性化事業「金管カルテット」 (コンサート1回、アウトリーチ4回)	共催	2/9.10 (アウトリーチ) 2/11 (コンサート)

③地域の芸術文化資源を活用したまなび事業

6	市民一芸塾（各講座5回） ①まるっとわかる！ドラムセット講座 ②衣類のかわいいお繕い「ダーニング」講座	主催	①7/22, 7/29, 8/5, 8/12, 8/19 ②1/22, 2/5, 2/19, 3/5, 3/19
7	市民一芸塾作品展	主催	【コロナウイルス感染予防のため中止】
● 8	野外彫刻展受賞者個展	主催	【コロナウイルス感染予防のため延期】
○ △ 9	放課後ダイバーシティダンス	共催	【コロナウイルス感染予防のため延期、代替事業実施】

(イ) 芸術振興事業

①芸術文化の創造事業

10	Xenakis et le Japon (展示、講演、ミニコンサート、WS等)	共催	8月17日～19日
○ 11	鼓童 交流公演2020	共催	【コロナウイルス感染予防のため中止】
● 12	【リーディング】『夜ヒカル鶴の仮面』 アジア多言語ワーク・イン・プログレス 発表公演 ～タイ・香港・マレーシア・韓国・日本～	共催	【コロナウイルス感染予防のため中止】
● 13	Synchro(シンクロ・和太鼓&和楽器) 全国ツアー 東京多摩公演	共催	【スケジュール都合で中止】
● 14	・多和田葉子 複数の私vol.05 音楽劇創作に向けた準備と市民ワークショップ ・ステージクリエイションシリーズII 太陽のタネ	主催	【コロナウイルス感染予防のため内容変更および代替事業実施】

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 人(定員)
子どもたちとその保護者を主なターゲットに、演劇の楽しさを伝えるとともに、気軽に参加でき、アーティストとも触れ合える環境を創出しました。また、コロナ感染予防に配慮し、客席数50%など感染予防対応に努めました。	大人400 こども0~200	117
往年の歌声喫茶をほうふつとさせる雰囲気、出演者と参加者が声を合わせて童謡から歌謡曲、シャンソン等を生伴奏で歌う事業であったが、コロナ感染予防の影響で中止しました。	500 歌集200	-
2015・2018年に開催した「くにたちアートビエンナーレ」事業を見直し、2019年11月から株式会社と、アーツカウンシル東京、市生涯学習課と連携し、アートを活用し、行政課題や新しい文化芸術を創出することを見据えた検討会を立ち上げ検討してきました。2020年度はコロナ感染予防の影響で予定した事業が延期されました。(会議2回、セミナー1回実施)セミナーの動画配信3/11国立市チャンネル	0	46

国立音楽大学出身で、これからの音楽芸術を担う若手音楽家に発表の機会を与える育成支援事業を行いました。コロナ感染予防のため、客席数を50%にしたため、2公演実施としました。	1,000	206
クラシック音楽をより身近に楽しんでもらうことを目的に、サクソ四重奏コンサートとその出演者による小学校でのアウトリーチ4回を実施しました。コロナ感染予防のため、客席数を50%にしたため、2公演実施としました。	1,500	301

①ドラムセットに組み込まれた楽器について解説するとともに音の出し方を教授し、最終日に講師および参加者の指揮によって即興演奏を披露しました。②英国発祥で日本ではまだ普及していない繕いを目的とした手芸を紹介しました。	2,000	121
2019年度に実施した3講座の受講生による成果の発表展示を行う予定でしたが、コロナウイルス感染予防のため事業を中止しました。	0	-
くにたちアートビエンナーレ野外彫刻展で受賞した作家2名の作品を展示する個展を開催する予定でしたが、各作家と協議の結果、コロナウイルス感染予防のため事業を中止しました。	0	-
東京都のオリ・パラ文化事業。市内小学生と地域のダンス関係者などで作品創作・発表の予定でしたが感染症蔓延の影響により2021年度に形式を変えて延期実施となりました。ただし、事業の趣旨を活かし芸小主催で代替ワークショップを8, 10, 11, 3月に実施しました。	0	33

NPO芸術文化ワークスとの共催事業。東京都よりオリンピック・パラリンピック文化プログラムの認定を受け、20世紀を代表する作曲家・クセナキスの偉業を演奏・公演・展示等により紹介することを予定していましたが、感染症拡大により規模を縮小して実施しました。	0	385
現代和太鼓アンサンブルの音楽を築いたリーディングカンパニー鼓童若手奏者による地域交流公演を行う予定でしたが、コロナウイルス感染予防のため事業を中止しました。	2,500	-
京都造形芸術大学助成事業。日本語戯曲を多言語化しアジア5カ国の俳優によりリーディング、京都でクリエーションを行い東京での発表を芸小で開催する予定でしたが、コロナウイルス感染予防のため中止しました。	100	-
鼓童出身のアーティストが、和太鼓・和楽器の可能性を広げるべく結成したユニット' Synchrono' による初の全国ツアーとして芸小ホールにおいても開催する予定でしたが、スケジュールの都合により中止しました。	250	-
2021年5月に実施予定だった音楽劇(オペラ)公演を1年延長したため、制作準備のみを行いました。また、代替事業として創作を伴う音楽会を実施しました。さらに音楽会と同タイトルで、芸小初の短編映画を制作発表しました。	ワークショップ参加費15,000 音楽会 おとな1000 こども500 映画 500	ワークショップ - 音楽会・映画会78

(イ) 芸術振興事業

②芸術文化の継承事業

計画事業 通し番号	報		実施日・期間
	事	業 名	
15	フレッシュ名曲コンサート（室内楽） 「ピアノ四重奏で彩る世界～秋山紗穂 同世代の名手 たちを迎えて～」	共催	1月24日
☆ 16	ホール寄席	主催	12月13日
○ 17	【夏休み子ども向け企画】 こども寄席（2回）	主催	【コロナウイルス感 染予防のため中止】
18	芸小シネマ	主催	【コロナウイルス感 染予防のため中止】
19	くにたち市民オーケストラ 2021年 ニューイヤーコンサート	主催	1月17日

③芸術文化の交流・支援事業

● 20	2020国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル 子ども向けパフォーマンス公演「おめめの目」	主催	【コロナウイルス感 染予防のため延期】
21	スタジオコンサート(4回) ① vol. 99 北村 聡・鈴木大介デュオコンサート ② vol. 98 加藤和也×山田 岳 ③ vol. 96 佐治拓見・権田晃朗デュオリサイタル ④ vol. 100 東京鮮烈 sess!on Live in くにたち	主催	①10月10日 ②11月14日 ③11月28日 ④1月30日
22	くにたちすたじお寄席 43-45回 ①第43回【コロナウイルス感染予防のため中止】 ②第44回 ③第45回	主催	①6月14日（中止） ②9月6日 ③3月7日

④創客、利用拡大事業

○ 23	ランチタイムコンサート・ランチタイムステージ（計10 回） イブニング・コンサート（計2回）	主催	4/15, 5/20, 6/17, 7/15（以上中 止） 8/19, 9/16, 10/21, 11/18, 1/20, 2/17, 3/17 イブニング12/16
24	ホールとグランドピアノのシェアプログラム	主催	4/20, 4/21(中止) 7/16～17, 9/14～15, 10/12～ 13, 11/16～17, 12/7～8, 2/1 ～3

(ウ) その他

①実行委員会参画事業

25	第45回 くにたち音楽祭	共催	【コロナウイルス感 染予防のため中止】
26	第27回 国立市吹奏楽フェスティバル	共催	【コロナウイルス感 染予防のため中止】
○ 27	ファミリーフェスティバル（ファンファーレ、春風コンサ ート、呈茶、エントランスコンサート）	共催	【コロナウイルス感 染予防のため中止】
28	ギャラリーネットワーク連携事業	共催	【コロナウイルス感 染予防のため中止】
○ 29	わくわく子どもフェスタ No. 8	共催	2月21日

○ こどもおすすめ事業

☆ 協賛事業

● 新規事業

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 (人)
第17回東京音楽コンクールピアノ部門第一位及び聴衆賞を受賞した秋山紗穂氏のほか、ヴァイオリン関朋岳氏、ヴィオラ田原綾子氏、チェロ佐藤晴真氏らにより息の合った素晴らしい演奏を聴いていただきました。	一般2,000 学生1,000	131
芸術小ホールの名物事業『くにたちすたじお寄席』に2019年9月1日よりレギュラーメンバーとして参加している立川かしまの二ツ目昇進を記念する会として、立川かしまの師匠 立川こしらの他、立川談四楼と三遊亭遊雀を招いての落語会を開催しました。コロナウィルス感染予防のため、座席数を半数以下で開催。	一般3,000 高校生以下1,000	107
落語を通じて観客の前で発表する機会や子どもたちが挑戦する気持ちを支援する事業を予定していましたが、コロナウィルス感染予防のため中止しました。	参加800 見学500	-
(公財) ポーラ伝統文化振興財団制作のドキュメンタリー映画などを上映し、優れた伝統工芸技術や民俗芸能の紹介する予定でしたが、コロナウィルス感染予防のため中止しました。	0	-
くにたち市民オーケストラによる管弦楽の名曲コンサートを共催事業として行いました。コロナウィルス感染症による非常事態宣言下での公演となり、座席数を半数以下で開催しました。	1,000	97

日本で初めて開催される「アシテジ世界大会」(子どもと文化についての専門家会議)の一環事業で、海外(韓国)からの招聘パフォーマンス作品「おめめの目」を上演する予定でしたが、コロナウィルス感染予防のため事業を中止しました。	1,000	-
国立市に縁のある音楽家らに公演の機会を提供するとともに、国立市又は近隣の方々に質の高いコンサートを安価な料金で提供することを目的としたコンサート。「北村 聡・鈴木大介デュオコンサート」等、計4回開催し、各回ともコロナウィルス感染拡大予防のため客席を通常の50%で開催しました。	1,000	152
芸小定番事業となった、若手落語家育成を狙った落語会。第43回は中止となりましたが、残る2回は客席を通常の50%で開催しました。	1,500	68

感染症拡大予防のための閉館に伴い、4月～7月の回を中止としました。その後も客席数を40～50席程度に抑え整理券配布で入場者を制限しました。	0	353
ホールの空き時間を活かし、安価にホールでのグランドピアノ演奏体験ができる機会を提供しました。	2,000	137

参加団体に実行委員会を組織して運営し、市内で活動する様々な音楽団体による、合同発表公演を開催する予定でしたが、コロナウィルス感染予防のため事業を中止しました。	0	-
参加団体に実行委員会を組織して運営し、主に中高の吹奏楽団体による合同発表公演を開催する予定でしたが、コロナウィルス感染予防のため事業を中止しました。	0	-
財団、体育協会の共催によるファミリー向け事業を行う中で、芸術小ホールでは吹奏楽公演、呈茶などを行っていますが、本年はコロナウィルス感染予防のため事業を中止しました。	0	-
くにたちギャラリーネットワークとして毎年美術講座を開催していますが、コロナウィルス感染予防のため事業を中止しました。	0	-
国立市児童館、国立市ボランティアセンター、立川子ども劇場国立支部などが実行委員会を組織し、子ども向けの催しをフェスタとして開催。今年度は、コロナウィルス感染予防のためホールでの児童劇のみ、他の催しは動画配信で行いました。	0	182

(2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業（定款第4条第2号）

〔郷土文化館〕（決算額 26,772,596 円）

ア. 郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保管、展示、普及のための事業

① 展示事業

・常設展示

実施事業 通し番号	報		実施日・期間
	事	業	
1	くにたち郷土文化館常設展示	自主	通年
2	ハケと用水の魚類展示	自主	通年
3	ハケに生きる鳥類展示	自主	通年
4	エコロジー&アメニティ空間創出のための施設及び周辺環境整備事業	自主	通年

・企画展示

5	春季企画展 「赤い三角屋根」誕生－国立大学町開拓の景色－	自主	4月6日～4月7日
6	ミニ展示 「国立駅開業と国立大学町の開発－『赤い三角屋根』誕生のころ	自主	6月15日～8月10日
7	第23回 紙の工芸展	共催	9月5日～9月27日
8	秋季企画展 「写真にみる滝乃川学園－歩みの記録を中心に－」	自主	10月31日～12月13日
9	冬季企画展 「むかしの暮らし展」	自主	1月12日～3月14日

② 資料収集・調査・研究事業

10	企画展準備に伴う資料収集及び調査・研究事業	自主	通年
11	地域資料の整理	自主	通年
12	収蔵資料の整理	自主	通年
13	資料のデジタル化事業	自主	通年
14	図書等の資料整理	自主	通年
15	地域資料等の購入・収集及び調査・研究事業	自主	通年
16	調査・研究の書籍刊行事業	自主	通年

③ 講座事業（教育・普及事業）

17	自然講座 くにとちの自然と生きものの関わり 「身近な水辺を体感しよう」	自主	9月12日
18	歴史講座 くにとちの古文書を読む 「襖の下張り文書から－府中宿の田中屋と遊女－」	自主	10月10日

告	入場料等 (円)	入場者数 (人)
事業内容及び説明		
「多摩川が育んだ段丘（ハケ）とともに生きる私たち」をテーマとした常設展示を行いました。	—	延 13,156
NPO国立市動物調査会の指導を得て、ハケ下の水路や府中用水の魚類を中心に展示しました。	—	—
ハケ周辺で見られる鳥類について、事故死した個体を剥製標本にし、館内に展示しました。	—	—
来館者が地球温暖化や省エネについて考えるとともに、くつろげる空間づくりを施設整備（ハード）、職員の接遇（ソフト）の両面を行いました。	—	—

旧国立駅舎再築オープンに伴い、駅舎が創建された頃のまちの様子や開発状況を紹介します。	—	延 59
上記展示が臨時休館措置により2日間で閉幕となった為、急遽規模を縮小し、当館及び国立市所蔵の資料を中心にピックアップしミニ展示を実施しました。	—	延 1,632
紙を素材にして様々な創作品を紹介しました。また、市内で活動するサークルと共催で、子どもから大人まで楽しめる体験事業を行いました。	—	延 1,024
日本で最初の知的しょうがいしゃのための福祉施設「滝乃川学園」に関する資料について、写真資料を中心に紹介しました。	—	延 1,864
昔のくらしの中で使われてきた館所蔵の民具を展示し、昔のくらしや道具についての知識を深める機会としました。	—	延 2,588

将来の企画展示に向けての準備として、国立市に係る資料の収集及び調査・研究を行いました。	—	—
新たに寄贈された資料（美術品、写真、民俗資料等）の整理を行いました。	—	—
収蔵庫の民具資料を再調査し、収蔵庫の整理を行い目録化を図りました。	—	—
市役所広報担当撮影写真等のデジタル化、情報入力促進を図り、一部をホームページ等で紹介しました。	—	—
寄贈図書等の資料整理を継続し、中央図書館のシステム上で検索可能なデータベース化を行いました。	—	—
地域資料の購入を含めた収集活動及び地域史に関する調査・研究を行いました。	—	—
企画展示の図録、研究紀要など、調査・研究の成果を刊行しました。	—	—

くにたちの身近な水辺でのフィールドワークを通じて、恵まれた水環境や、生育する生きものたちの様子を観察し、その状況をビデオで撮影しました。	300円	2
府中宿で道案内（警史）を務めた田中屋万五郎に関連する古文書で、飯盛旅籠の遊女についての文章を取り上げました。	300円	14

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
19	古文書に親しむ 古文書でみる府中用水Vol.4 「多摩川の洪水と用水の普請」	自 主	11月1日
20	歴史講座 くにとちの古文書を読む 「襖の下張り文書から-府中宿の田中屋と道案内-」	自 主	3月6日
○ 21	共催企画展関連事業 「子どもの体験教室」	共 催	8月2日
22	共催企画展関連事業 「体験教室」	共 催	9/6～23の内9日間
23	秋季企画展関連事業 講演会 「石井亮一・筆子と滝乃川学園」	自 主	11月8日
24	秋季企画展関連事業 講演会 「滝乃川学園理事長渋谷栄一と社会福祉事業」	自 主	11月21日
25	春季企画展関連事業 講演会 「旧国立駅舎の復原とデザイン」	自 主	3月13日
26	春季企画展関連事業 講演会 「国立駅と学園都市開発」	自 主	3月20日
27	冬季企画展関連音楽鑑賞事業 「蓄音機でレコードを聴いてみよう」	自 主	2月8日

イ. 市民が参加及び体験する事業

①郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

28	国立市古民家の公開と展示事業	自 主	通 年
29	民具案内 国立市内公立、私立小学校3年生対象	自 主	1月15日～3月5日
○ 30	伝統行事 ひな人形飾り	自 主	2月13日～3月7日

②郷土の自然環境を学び体験する事業

○ 31	くにとち自然クラブ（全5回）	共 催	8月9日～12月13日
○ 32	天体観測 冬の星空ウォッチング（全3回）	自 主	12月22日～2月19日
○ 33	自然観察会 冬の生き物探し	自 主	2月11日

告	入場料等 (円)	入場者数 (人)
事業内容及び説明		
府中用水に関する一連の文章から、多摩川の洪水と用水の普請に関する文章を取り上げました。	300円	17
府中宿で道案内(警史)を務めた田中屋万五郎に関連する古文書で、万五郎の活動拠点の変遷と、その子分や周辺の道案内の動向について取り上げました。	300円	19
小学生までの子ども対象にちぎり絵、折り紙、寄紙細工、立体パズルの体験教室を行い、一部の作品を工芸展で展示しました。	100円	延 24
大人を対象に立体パズル、寄紙細工、千代紙細工、彩人形、折り紙、ペーパークラフト、エコクラフト、ちぎり絵の体験教室を行いました。	各300円	延 124
滝乃川学園石井亮一・筆子記念館館長により、滝乃川学園の歴史と石井亮一・筆子とのかかわりを分かりやすく講演してもらいました。	—	40
渋沢資料館の学芸員により、理事長でもありました渋沢栄一が、滝乃川学園を通して社会福祉事業にかかわった経過等について講演してもらいました。	—	44
大正15(1926)年に開業し、令和2(2020)年に復原された旧国立駅舎のデザインを建築史的観点から講演してもらいました。	—	26
箱根土地株式会社の学園都市開発において、国立駅が果たした役割や歴史的意義について各資料から講演してもらいました。	—	28
冬季企画展「むかしのくらし展」関連事業として、郷土文化館に収蔵されている蓄音機でSPレコードを鑑賞しました。	—	22

国立市有形民俗文化財の復元民家旧柳澤家を一般に公開するとともに、農具等の資料を展示しました。	—	延 8,349
社会科授業の一環として、郷土文化館所蔵の民具の解説と体験を行いました。(10校 音大小は中止)	—	481
豪華な段飾りの雛人形を展示し、郷土文化館や古民家を訪れる人達に日本の風習や工芸の美しさを味わってもらいました。	—	延 2,591

小学生を対象とし、ハケや湧水、矢川、府中用水、多摩川の生き物や自然の観察を通して、自然の大切さを学びました。 共催：NPO法人国立市動物調査会	通年参加費 2,000	38
郷土文化館武蔵野庭園において、国立天文台の講師からお話を聞きながら、大型天体望遠鏡で国立から見える宇宙を観察しました。	—	延 37
NPO法人国立市動物調査会の指導のもと、土の中のカブトムシや、朽木の中のクワガタムシ等を観察し、自然の観察方法等を学びました。	—	16

(3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業(定款第4条第3号)

[市民総合体育館] (決算額 17,320,224 円)

ア. スポーツ及びレクリエーション活動の振興事業

①健康づくりのスポーツ事業

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
1	太極拳24式・48式 ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間) ⑤(8日間)	自 主	4月7日～6月2日 6月9日～7月28日 9月1日～10月27日 11月10日～1月12日 1月26日～3月23日
2	初めての気功と健康太極拳 ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間) ⑤(8日間)	自 主	4月7日～6月2日 6月9日～7月28日 9月1日～10月27日 11月10日～1月12日 1月26日～3月23日
3	やさしいヨガ ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間)	自 主	5月13日～7月1日 8月26日～10月14日 10月28日～12月16日 2月10日～3月31日
4	水中リズムウォーキング ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間)	自 主	4月15日～6月17日 9月2日～10月28日 11月4日～12月23日 1月13日～3月3日
5	骨盤調整&エアロビクス ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間)	自 主	4月11日～5月30日 6月20日～8月8日 10月31日～12月19日 1月23日～3月13日
6	楽しいフラダンス ①(6日間) ②(6日間) ③(6日間)	自 主	4月16日～6月18日 9月17日～11月19日 12月3日～2月18日
7	大人の初心者水泳教室 (8日間)	自 主	5月29日～7月17日
8	インターバル速歩 12回	自 主	4月3日～3月5日

②スポーツ及びレクリエーションの普及事業

9	初心者ゴルフ教室 (12日間)	自 主	4月7日～6月30日
10	レベルアップゴルフ① (12日間) レベルアップゴルフ② (6日間)	自 主	9月8日～12月8日 2月9日～3月26日

イ. 市民が参加及び体験する事業

①親と子供のスポーツ体験事業

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
11	親子スイミング教室 ①(6日間) ②(6日間) ③(6日間)	自 主	5月11日～6月15日 10月26日～12月7日 2月15日～3月22日
12	親子体操教室 ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間)	自 主	5月8日～7月3日 9月4日～10月30日 1月22日～3月19日

告	参加費等 (円)	参加者数 (人)
事業内容及び説明		
中国武術の一派をもとに制定された健康法として、中国政府が編纂・制定した太極拳を学び、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	
	5,000	212
※新型コロナウイルスの影響により①および②を中止しました。	5,000	213
	5,000	318
初心者向けの13勢基本法の太極拳にゆっくりとした呼吸法を取入れ、足腰を鍛錬し、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	
	5,000	170
※新型コロナウイルスの影響により①および②を中止しました。	5,000	169
	5,000	237
ヨガの基本的な動作をわかりやすく取り入れ、身体をリラックスさせて心身のリフレッシュと健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	
	5,000	345
※新型コロナウイルスの影響により①を中止しました。	5,000	319
	5,000	222
水中を歩いたりストレッチ、ダンス等を行うことにより、浮力を利用し身体全体を動かすなど、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	
	5,000	208
※新型コロナウイルスの影響により①を中止しました。	5,000	215
	5,000	294
音楽のリズムに合わせた有酸素運動に加えて、骨盤を調整するストレッチを取り入れ、健康な身体作りを目指した事業を実施しました。	5,000	
	5,000	
※新型コロナウイルスの影響により①および②を中止しました。	5,000	139
	5,000	192
音楽に合わせバランスを取りながら、優雅に全身を動かすことにより健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	
	5,000	77
※新型コロナウイルスの影響により①を中止しました。	5,000	114
夜間の事業です。最も参加者の年齢層が幅広い事業です。		
※新型コロナウイルスの影響により中止しました。	5,000	
「さっさか歩き」と「ゆっくり歩き」を交互に繰り返すウォーキング法の講習会です。毎月第1金曜日に申込不要の自由参加で開催しています。	無料	
※新型コロナウイルスの影響により4～6月は中止しました。		321

ゴルフの基本的な技術指導を行い、ゴルフの楽しさや技術とルールを学ぶため事業を実施しました。	18,000	
※新型コロナウイルスの影響により中止しました。		
ゴルフの応用的な技術指導とルールを学ぶとともに参加者がレベルアップする事業を実施しました。	18,000	416
	9,000	233

告	参加費等 (円)	参加者数 (人)
事業内容及び説明		
親子で水に慣れるとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。	4,000	
※新型コロナウイルスの影響により①を中止しました。	4,000	46組 92
	4,000	53組 108
親子で一緒に運動することにより動く楽しさを知るとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。	5,000	
	5,000	84組 168
※新型コロナウイルスの影響により①を中止しました。	5,000	176組 352

13	親子野球教室	① (1日) ② (1日)	自 主	10月 3日 3月13日
----	--------	------------------	-----	-----------------

②小学生スポーツ体験事業

○	14	小中学生無料開放 (春休み1回) (夏休み2回) (冬休み1回)	自 主	7月29日 8月19日 1月 6日 3月29日
○	15	小学生かけっこ教室 (8日間)	自 主	5月 18日～ 6月29日
○	16	小学生バドミントン教室 ① (6日間) ② (6日間)	自 主	5月 2日～ 6月 6日 10月10日～12月 5日
○	17	小学生ラグビー体験会 (2日間)	自 主	6月21日・28日
○	18	小学生高学年テニス教室 (3日間)	自 主	8月 3日～ 5日
○	19	初心者ミニバスケット教室 (1回 2日間)	自 主	7月28日～ 7月30日
○	20	サッカークリニック (1日間)	自 主	1月17日

③共催事業

○ ☆	21	第30回ファミリーフェスティバル	共 催	5月 5日
○	22	小学生初心者水泳教室	共 催	3月 3日～3月26日
☆	23	第30回くにたちウォーキング	共 催	11月23日
	24	スポーツ講演会	共 催	2月24日
☆	25	第30回ダンスコレクション (会場：市民芸術小ホール)	共 催	2月28日

③協力事業

	26	体力テスト対策 一小 (1～6年生)	協 力	5月27日 6月 3日 6月10日
	27	小学生初心者水泳教室 ①二小 (5日間) ②三小 (3日間) ③四小 (7日間) ④五小 (5日間) ⑤六小 (5日間) ⑥七小 (4日間)	協 力	8月 5日～ 9日 8月19日～21日 7月23日～30日 &8月21日 7月29日～ 8月 2日 7月22日～26日 8月13日～16日

幼稚園の年中から小学2年生までを対象に、プロの指導員により野球を基礎から学ぶ場を提供することにより、運動の楽しさを知ってもらうために事業を実施しました。 ※②は雨のため中止しました。	無 料	35組 70
---------------------------------------------------------------------------------------------	-----	--------

小・中学生を対象に学校の長期休暇期間中、子ども同士や親子で卓球、バドミントン、水泳を楽しく体験し、ルールを学び、スポーツに親しむ事業を実施しました。各種目には指導者を配置しアドバイスをを行いました。 ※新型コロナウイルスの影響により、夏休みの2回分を中止しました。	無 料	54 246
小学生を対象にスポーツイベントを開催し、専門の指導員によりスポーツの楽しさを経験します。 ※新型コロナウイルスの影響により、中止しました。	10,000	
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サーブ・レシーブ・スマッシュなどバドミントンを基礎から学びました。 ※新型コロナウイルスの影響により①を中止しました。	2,000	63
小学生を対象に初めてラグビーの体験会を開催しました。ボールの投げ方・受け方やタックルの方法などを練習し、最後にタグラグビーを行います。 ※新型コロナウイルスの影響により中止しました。	無 料	
小学4年生から6年生を対象に、サーブ・レシーブ・ボレーなどのテニスの基礎を学びました。	無 料	33
小学生の初心者を対象に、ミニバスケットのゴールでドリブルやシュートなどの基礎を学びます。 ※新型コロナウイルスの影響により中止しました。	無 料	
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サッカーの基礎や応用を学ぶ場を提供することにより楽しさを知るために事業を実施します。 ※新型コロナウイルスの影響により中止しました。	無 料	

総合体育館及びその周辺にスポーツやゲームのコーナーを設け、子どもを中心に家族で楽しんでもらうイベントを開催します。共催：国立市体育協会 ※新型コロナウイルスの影響により中止しました。	無 料	
小学1年生から高校3年生まで授業で12年間学ぶ水泳を、市内の全小学生が泳げるようになることを目的とした。小学5年生と6年生を対象に、ドル平式の水泳法を指導した。共催：国立市	無 料	87
今年はA：8.6km、S：11.3kmの2コースになりました。完歩賞を発行するなど楽しく参加できるようにするとともに、完走後に抽選会を開催し商品を出しました。 共催：国立市体育協会 協賛：(株)ヤクルト本社中央研究所、(株)F S X、(公社)国立市シルバー人材センター、カルフォルニアレーズン協会、大塚製薬(株)	大人 500 子供 200	369
共催：国立市体育協会 ※新型コロナウイルスの影響により中止しました。	無 料	
総合体育館と市民芸術小ホールの利用団体によるダンス活動の成果を発表するとともに、ダンスの普及を図るために開催しました。 共催：第30回ダンスコレクション実行委員会 協賛：(株)ヤクルト本社中央研究所、(有)白十字	指定・ 1,000	264

小学生を対象に全国で行われる体力テスト対策を行います。テストは屋内が5種目、屋外が3種目ですが、このうち屋内は4種目、屋外は2種目で行います。 ※新型コロナウイルスの影響により中止しました。	無 料	
教室開催を希望する小学校を対象に初心者水泳教室を開催します。定員は設けず希望者全員が受講できます。また、2学期に水泳の授業が無い小学校では、最終日に検定も行います。 ※新型コロナウイルスの影響により中止しました。	無 料	

(4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業（定款第4条第4号）

〔総務課〕（決算額 330,000 円）

ア. 助成事業

実施事業 通し番号	報	
	事業名（団体名）	実施月日
1	第17回くにたちふれあいコンサート 第4回日韓親善友好の音楽の調べ (高齢者福祉を考える会)	11月19日
2	第44回塞の神どんど焼 (塞の神どんど焼き実行委員会)	1月11日

* 2020年度は新型コロナウイルス感染防止のため、助成金の申請があった後に事業中止による4件の取り下げがありました。

(5) 財団広報誌「オアシス」の発行等（定款第4条第7号）

〔総務課〕（決算額 5,469,032 円）

実施事業 通し番号	報	
	事業名（団体名）	実施月日
1	財団広報誌「オアシス」の発行事業	4月、6月、8月 10月、12月、2月
2	財団ホームページの管理事業	随時

告 事業内容及び説明	助成金 (円)	入場者数 等(人)
高齢者を対象(中心)に、ピアノ、バイオリン等を演奏し、生の音楽を聴いてもらいました。今回はコロナ禍の中で、入場者制限、手指消毒、マスク着用などの対策を取り実施しました。また、コロナ禍で韓国の音楽家が来日できないことから、DVDによる参加となりました。	180,000	160
新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言下での開催となったため、当日は一般の方の入場は遠慮いただき、あらかじめ集めた正月飾りを燃やして新型コロナウイルスの撲滅祈願をしました。規模は小さくなりましたが、地域の伝統行事を絶やすことなく事業を継続しました。	150,000	40

告 事業内容及び説明	事業費 (円)	発行数 (部)
各館の事業を中心に年6回隔月に「オアシス」を発行し市内全世帯に配布しました。 発行部数 毎回約42,500部、 8ページ1回、4ページ5回 発行形態 タブロイド判 全頁フルカラー 広告1枠(8センチ×6センチ) 広告収入3社13枠 (265,000円)	4,079,032	257,570
ホームページを通して、事業内容、財団の情報を発信しました。 随時更新	1,390,000	—

(6) 総合評価

(芸術小ホール)

- ・定款第4条1号に係わる自主・共催事業については、新型感染症拡大の影響により中止・延期が相次ぎ、事業実施の本数は当初計画と比較し7割にとどまりました。文化芸術振興の歩みを止めることなきよう、施設の収容人数あるいは客席数を半数にするなどの制限を行いつつ内容を変更・縮小するなどして実施したことについて、参加した市民や出演者からは多くの賛同を得ることができました。
- ・「芸術環境創造事業」ではくにたちアートビエンナーレに代わる新規事業として「(仮称)くにたちアートプロジェクト事業」を立ち上げました。また大学や学校、地域の芸術団体や個人との協働により事業を実施しました。地域の芸術的リソース・芸術家との連携を今後も一層深め、事業の内容をより充実させていくことを目指します。
- ・「芸術振興事業」では、芸術活動をより広く、より多くの市民に伝えるため、学校でのアウトリーチ活動やワークショップ等の実施を進めました。またホール・スタジオでの演奏会、落語会など鑑賞型の事業や無料コンサートも引き続き開催し、良質な芸術に触れやすい環境づくりに努めました。さらに、芸術の真髄と言える「クリエイション=創作」にこだわり当ホールではまだまだ取り組みが遅れている新作制作も行いました。
- ・これらの活動を支える広報としてツイッター、メールマガジンの運用を引き続き行い、その充実を図りました。また無料映像配信の利用を開始し、今後も有効に利用しながら芸小の活動を広く伝えていきます。
- ・施設・設備の老朽化不具合が常に発生し、その対応の負担が依然として大きくなっています。限りある予算の中、職員による修繕作業など可能な限りの対策も行いつつ、施設利用への影響をできるかぎり少なくする努力を引き続き行っていきます。

(郷土文化館)

- ・旧国立駅舎再築オープン記念に併せて予定していた春季企画展の「赤い三角屋根誕生—国立大学町開拓の景色—」が、新型コロナウイルスの関係で2日間のみ開催に終わり大変残念でした。しかし、その代替として当初は予定していなかったミニ展示「国立駅開業と国立大学町の開発」を当館及び国立市所蔵の資料を中心に規模は縮小でありましたが、急遽実施できたのはよかったと思いました。
- ・共催企画展「第23回 紙の工芸展」は、郷土文化館を利用している団体が中心となり実行委員会を組織し、各サークルの創作活動の成果の発表の場としました。関連事業として、子どもを対象とした体験教室及び大人を対象とした体験教室を延10日間実施しましたが、子ども体験教室で作成した作品の一部を紙の工芸展に展示したことは作者やその親御さんに喜ばれ好評でした。
- ・秋季企画展「写真にみる滝乃川学園一步みの記録を中心に—」は、2021年の学園創立130周年を踏まえ、当館が滝乃川学園から借用している資料を紹介することを目的にしましたが、多くの来場者に分かりやすいように展示物の高さや説明文の文字数などを配慮して展示することを目指しました。しかし、戦時下・戦後の歩みについては、概略を説明するにとどまったため、分かりやすさという点で課題が残りました。今後においても国

立市に現存している日本最初の知的しょうがいしゃ福祉施設ということで機会があれば順次新たな資料を紹介していきたいと思います。

- ・ 冬季企画展「むかしの暮らし展」の見学と合わせ、郷土の歴史と民俗を体験的に知る機会とした市内小学校3年生を対象の民具案内は、例年、国立に昔からお住まいになっている「くにたちの暮らしを記録する会」の皆さんにご協力をしていただき実施していました。しかし、今回はコロナ禍ということもあり、暮らしを記録する会の協力はなしで10校中4校は出張授業で対応し、来館した学校に対しても内容を一部縮小して実施しました。郷土文化館のみで対応したため少々大変でありましたが、今後においてもいろいろな状況に柔軟に対応するという事を踏まえ意義ある体験でした。
- ・ 今年度は、コロナ禍ということもあり各事業の参加人数を制限しました。そのことにより参加できなかった人のために、事業の実施状況をビデオ撮影し、「おうちで郷土文化館」と題してホームページで公開したことはよかったと感じています。この試みは今後においても継続して行っていこうと考えています。
- ・ 郷土文化館においては、資料収集・調査・研究事業は、日頃の地道な業務ですが、博物館業務として非常に大切なものでありますので、今後においても地域資料の整理、資料のデジタル化、図書の資料整理等々について、継続的に進めていきたいと考えています。

(総合体育館)

- ・ 2020年度は新型コロナウイルス対策が評価の中心になります。緊急事態宣言を受け、4月10日からほとんどの体育館が休館になりました。緊急事態宣言の解除を受け、当館は6月1日から再開しましたが、他市の体育館と比べ早期に再開しました。また、1月7日の緊急事態宣言後もコロナ対策を徹底し通常営業を続けました。これは4月の緊急事態宣言を踏まえ休館したころ、多くの方が運動習慣を失い体調を崩したという声を多数いただいたからです。感染者が発生することなく時短を行わずに開館を続けたことは、積極的に評価されることであると判断しています。
- ・ それに対し緊急事態宣言の解除に伴う総合体育館の開館については、準備不足の指摘を受けることが免れません。各室とも時間差を設けて開館し大きなトラブルはありませんでしたが、開館を見据えてより事前に準備することが必要でした。特に広報についてはそのことが言えると考えています。
- ・ 有料公園施設については、4月8日から5月6日まで閉鎖しました。5月7日からの再開については、屋外ということもあり特に問題はありませんでした。

(総務課)

- ・ 広報紙「オアシス」発行事業については、より市民に見やすいことを心掛けて編集しました。今後においても財団として、オアシスは非常に重要な広報媒体でありますので、より親しみやすく、多くの市民に読んでいただけるよう編集の創意工夫に努めていきます。オアシスへの広告掲載についてはコロナ禍の影響で減少してしまいましたが、掲載依頼等についても引き続き努力していきます。また、ホームページについては、市民にわかりやすく、早急に情報提供できるよう努めていきます。

2. 指定管理事業

国立市との協定による施設の管理運営事業

(1) 市民芸術小ホールの利用状況

(ア) 利用料収入 コロナウイルス感染症特例措置100%還付3,738,700円半額利用(7~10月申込み分) 2,844,950円

施設名	2020年度			2019年度			増(-)減
	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	
ホール	2,074,785	4,219,700	6,294,485	5,657,280	7,095,950	12,753,230	△ 6,458,745
スタジオ	740,275	494,300	1,234,575	1,065,150	728,700	1,793,850	△ 559,275
音楽練習室	484,940	152,900	637,840	1,326,660	293,850	1,620,510	△ 982,670
アトリエ	131,650	1,400	133,050	544,600	4,400	549,000	△ 415,950
ギャラリー	180,000	0	180,000	546,000	600	546,600	△ 366,600
合計	3,611,650	4,868,300	8,479,950	9,139,690	8,123,500	17,263,190	△ 8,783,240

※4/4・5、4/8~6/3はコロナウイルス感染症対策として休館。6/4~7は開館、還付業務のみ。

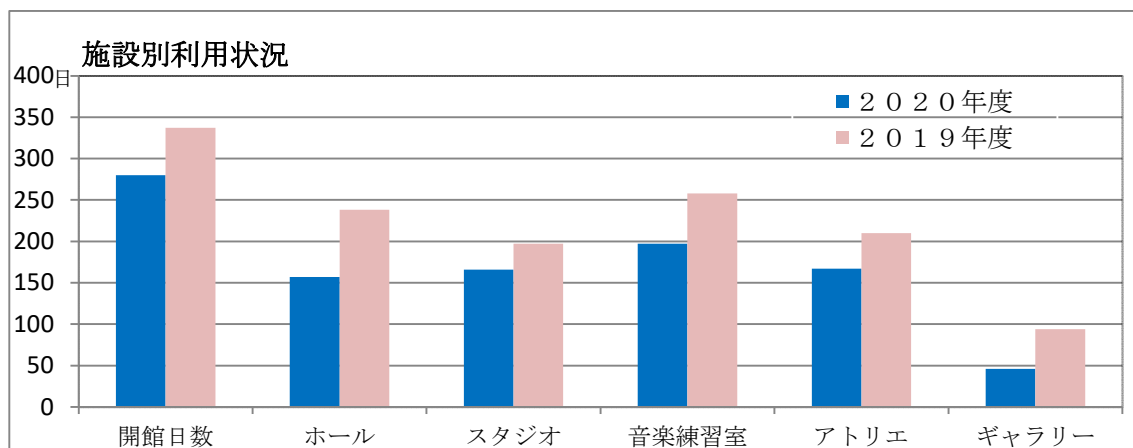
6/8~6/30は閉館前の予約者のみ50%制限で利用。7/1~10/31までは定員50%制限で50%減免。

※7/27~8/7はホール音響設備工事の為利用不可

2020年度減免利用料額			2019年度減免利用料額			差引増(-)減額
施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計	
5,256,600	3,573,050	8,829,650				単位：円
8,856,700	5,289,100	14,145,800	-3,600,100	-1,716,050	-5,316,150	

(イ) 施設別利用状況

年度	施設名	利用日数	利用率	利用件数	利用者数	
					市内	市外
2020年度 開館日数 280日	ホール	157日	56.1%	181件	177件	4件
	スタジオ	166	59.3	220	205	15
	音楽練習室	197	70.4	288	277	11
	アトリエ	167	59.6	191	191	0
	ギャラリー	46	16.4	46	46	0
	エントランス	13	4.6	13	13	0
	計			939	909	30
2019年度 開館日数 335日	ホール	238日	71.0%	327件	254件	73件
	スタジオ	197	58.8	310	215	95
	音楽練習室	258	77.0	424	287	137
	アトリエ	210	62.7	275	246	29
	ギャラリー	94	28.1	96	79	17
	エントランス	12	3.6	12	12	0
	計			1,444	1,093	351



市民芸術小ホール利用状況

<2020年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
2020年 4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2020年 5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2020年 6月	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	1	0
2020年 7月	10	10	9	8	13	6	16	15	11	17	8	4	4	0
2020年 8月	14	16	15	15	15	10	19	16	12	16	10	8	12	6
2020年 9月	7	8	4	9	12	9	17	14	12	16	6	1	1	1
2020年 10月	11	15	17	15	13	11	17	15	11	19	8	2	2	1
2020年 11月	16	19	18	23	17	13	20	20	8	18	6	3	10	1
2020年 12月	16	17	19	18	14	13	17	11	5	18	8	4	2	1
2021年 1月	14	16	18	8	12	10	12	10	14	10	7	2	3	1
2021年 2月	22	22	19	9	18	16	14	14	13	12	11	4	7	1
2021年 3月	15	17	16	15	18	15	15	18	13	11	8	3	4	1
合 計	125	140	135	120	132	103	148	136	99	137	72	31	46	13

※4/4・5、4/8～6/3はコロナウイルス感染症対策として休館。6/4～7は開館、還付業務のみ。
6/8～6/30は閉館前の予約者のみ50%制限で利用。7/1～10/31までは定員50%制限で50%減免。
10/31までに2021/3/31までの施設予約者に50%減免

※7/27～8/7はホール音響設備工事の為利用不可

※2021/1/11～2021/3/31の間定員数50%制限で利用

<2019年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
2019年 4月	15	17	17	14	14	4	8	16	8	14	8	2	17	1
2019年 5月	8	11	11	9	13	7	14	15	6	14	6	4	3	2
2019年 6月	12	14	9	13	15	12	17	17	15	14	8	5	5	1
2019年 7月	14	19	15	19	13	12	17	21	17	16	7	6	5	1
2019年 8月	21	20	18	17	16	9	16	18	10	8	3	2	0	1
2019年 9月	20	22	17	12	16	13	18	20	12	20	10	5	4	1
2019年 10月	20	22	26	16	21	15	22	22	21	17	14	13	14	1
2019年 11月	22	25	13	17	23	13	18	25	19	18	15	8	20	1
2019年 12月	23	24	25	13	13	13	18	20	15	20	14	6	16	1
2020年 1月	16	19	14	8	10	4	16	18	8	14	10	2	0	1
2020年 2月	19	19	17	14	15	7	21	21	12	16	13	5	10	1
2020年 3月	4	3	2	3	2	1	2	5	1	2	2	1	0	0
合 計	194	215	184	155	171	110	187	218	144	173	110	59	94	12

※2019/7/27～2019/8/5の間のアトリエは床修繕工事のため利用不可。

※2019/10/24（木）は通常休館日のところ、市・政策経営課利用のため開館。

※2020/3/1～2020/3/31の間、新型コロナウイルス感染拡大予防のため全館に利用自粛要請あり。

(2) 国立市古民家を含む郷土文化館の利用状況

(ア) 施設・設備利用料収入

単位：円

年 度	利用料収入額			減免利用料		
	施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計
2020年度	829,000	149,500	978,500	1,418,000	16,500	1,434,500
2019年度	1,020,200	149,500	1,169,700	1,514,100	34,500	1,548,600
増(－)減	-191,200	0	-191,200	-96,100	-18,000	-114,100

※コロナの影響で施設利用収入減

(イ) 施設別利用状況

単位：件

施設名	年 度	利用時間帯別利用件数 (年間284日)														
		午前			午後			夜間			全日			合計		
		有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計
講 堂	2020年度	105	23	128	160	20	180	113	1	114	0	0	0	378	44	422
	2019年度	100	22	122	189	9	198	113	0	113	0	0	0	402	31	433
研修室 1	2020年度	0	5	5	4	3	7	0	0	0	0	0	0	4	8	12
	2019年度	28	40	68	71	27	98	1	5	6	0	0	0	100	72	172
研修室 2	2020年度	116	42	158	138	45	183	2	4	6	0	0	0	256	91	347
	2019年度	162	33	195	175	24	199	0	6	6	0	0	0	337	63	400
特別展示室	2020年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	176	176	0	176	176
	2019年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	188	188	0	188	188
合 計	2020年度	221	70	291	302	68	370	115	5	120	0	176	176	638	319	957
	2019年度	290	95	385	435	60	495	114	11	125	0	188	188	839	354	1,193

※コロナの影響で施設利用人数の制限や、研修室1, 2の結合運用を実施

※4、5月緊急事態宣言による臨時休館中は施設利用も停止

(ウ) 付属設備利用状況

単位：件

年 度	ビデオ映写装置			移動展示ケース			スライド映写機			16ミリ映写機			OHP			陶芸用電気釜			合 計		
	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計
2020年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	3	29	26	3	29
2019年度	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	6	32	27	6	33

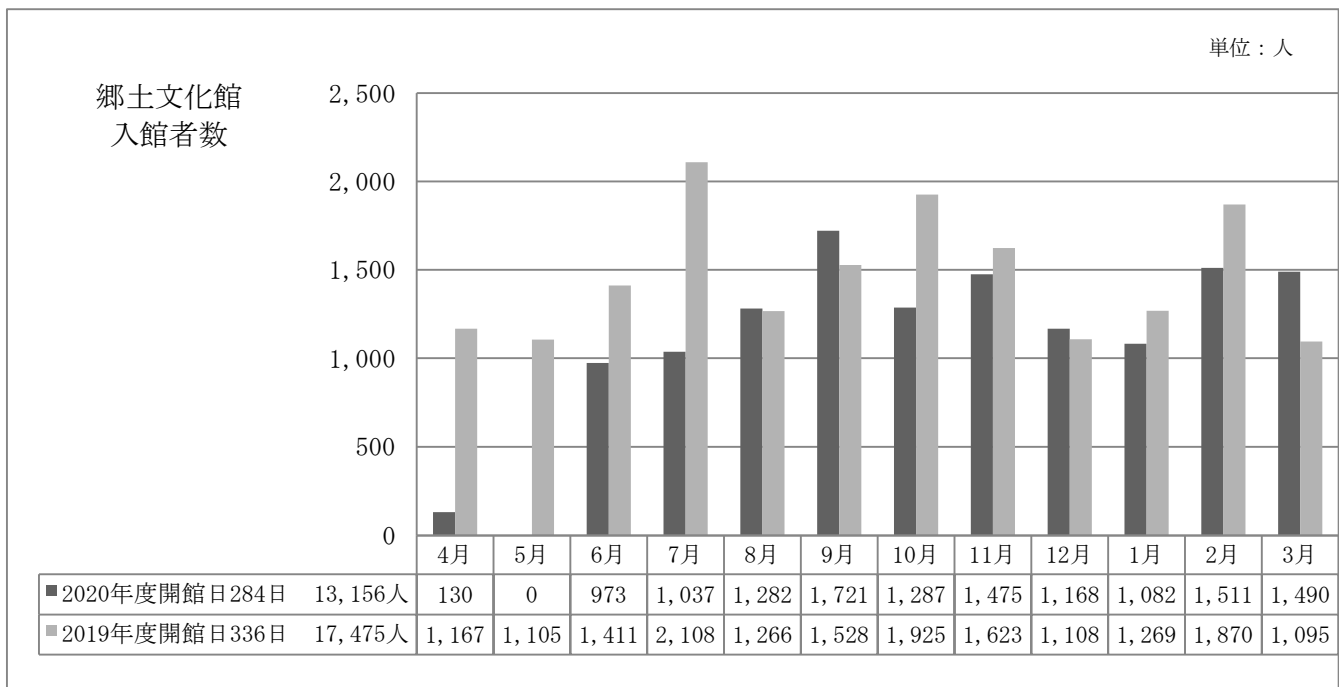
(エ) 事業収入等状況

年 度	入館者 (人)			事業収入等 (円)					事業参加者 (人)		
	郷土文化館	古民家	合 計	入場料	参加費	図録売上	その他	合 計	有 料	無 料	合 計
2020年度	13,156	8,349	21,505	0	77,800	1,028,500	24,020	1,130,320	188	10,502	10,690
2019年度	17,475	11,235	28,710	0	144,400	410,000	19,570	573,970	208	12,780	12,988
増(－)減	-4,319	-2,886	-7,205	0	-66,600	618,500	4,450	556,350	-20	-2,278	-2,298

※4、5月緊急事態宣言による臨時休館により開館日が5日間 (前年57日間)

※コロナの影響でいくつかのイベント自粛

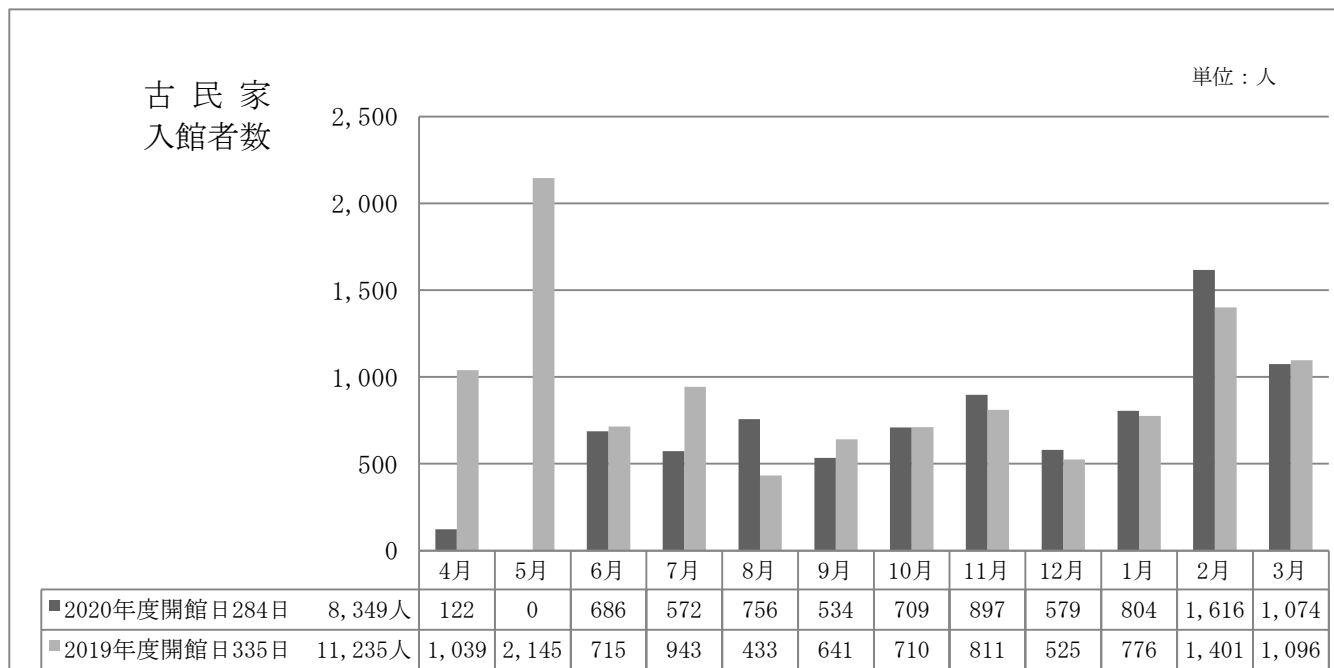
※図録は今年度は旧駅舎再築関連の図録売上が大きく貢献 (特に旧国立駅舎において)



※郷土館4、5月緊急事態宣言による臨時休館により開館日が5日間（前年57日間）

※JR東日本の「駅からハイキング」等、集客が期待できるイベントはほとんど中止

※全体を通して、コロナ自粛の影響で入館者数減



※古民家4、5月緊急事態宣言による臨時休館により開館日が5日間（前年57日間）

※コロナの影響で「ぼうけん遊び場」、「里山フェスタ」など集客が期待できるイベントは中止

※全体を通して、コロナ自粛の影響で入館者数減

(3) 市民総合体育館の利用状況

(開館日数: 282 日)

ア 利用料収入

単位:円

	利用料収入額			減免利用料			
	個人	団体貸切	合計	減免	グリーンパス等	特保	合計
2020年度	18,457,650	6,778,320	25,235,970	1,589,500	3,309,600	94,700	4,993,800
2019年度	25,117,440	7,414,660	32,532,100	2,105,000	5,128,400	135,700	7,369,100
増減	-6,659,790	-636,340	-7,296,130	-515,500	-1,818,800	-41,000	-2,375,300

イ 個人利用の状況

単位:人

	第一、二、三体育室			室内プール			
	個人	グリーンパス等	合計	個人	グリーンパス等	特保	合計
2020年度	20,194	3,828	24,022	12,059	6,339	18	18,416
2019年度	24,597	6,157	30,754	18,705	8,897	50	27,652
増減	-4,403	-2,329	-6,732	-6,646	-2,558	-32	-9,236

	トレーニング室				合計			
	個人	グリーンパス等	特保	合計	個人	グリーンパス等	特保	合計
2020年度	19,711	8,168	293	28,172	51,964	18,335	311	70,610
2019年度	30,511	15,214	395	46,120	73,813	30,268	445	104,526
増減	-10,800	-7,046	-102	-17,948	-21,849	-11,933	-134	-33,916

ウ 団体貸切利用の状況

単位:(団体数)団体、(人数)人

	第一～三体育室		室内プール		会議室		ステージ
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数
2020年度	2,014	30,984	325	7,253	512	6,764	4
2019年度	2,428	53,759	507	13,130	394	9,999	28
増減	-414	-22,775	-182	-5,877	118	-3,235	-24

4月～5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用自粛及び中止

単位:(団体数)団体、(人数)人

	合計	
	団体数	人数
2020年度	2,855	45,001
2019年度	3,357	76,888
増減	-502	-31,887

総利用者数 単位:人

個人利用+団体貸切+保育室	
2020年度	116,486
2019年度	182,991
増(-)減	-66,505

エ その他 保育室利用状況

保育室	利用件数	人数
		206件

・駐車場利用状況(届け出台数)

駐車場	利用台数	1日平均
		16,317台

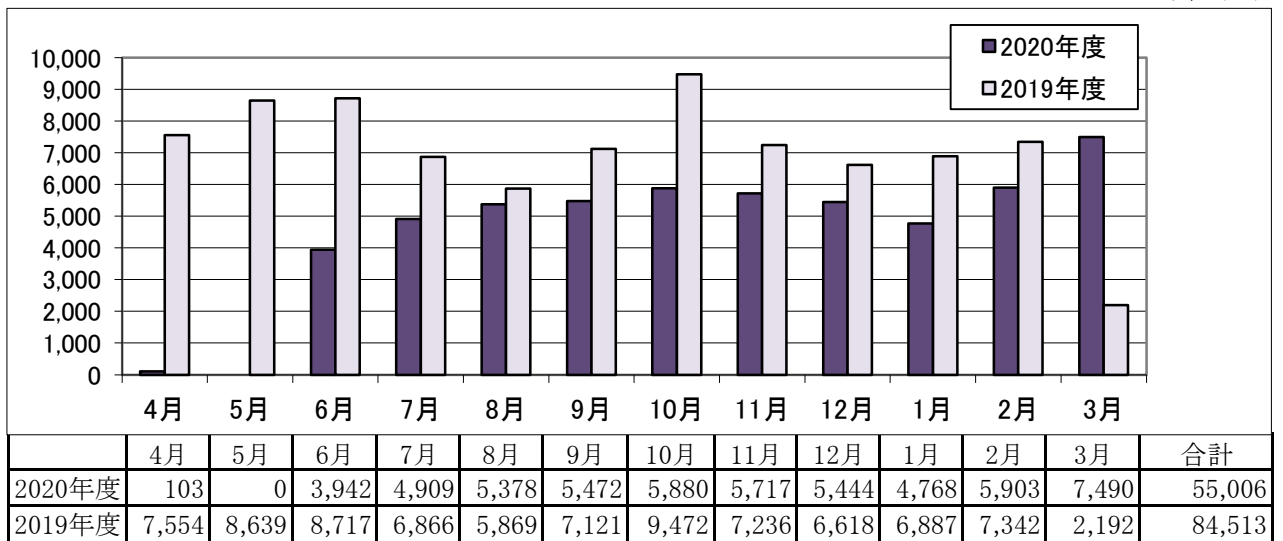
オ くになち南市民プラザ:トレーニング室利用状況

(開館日数: 170 日)

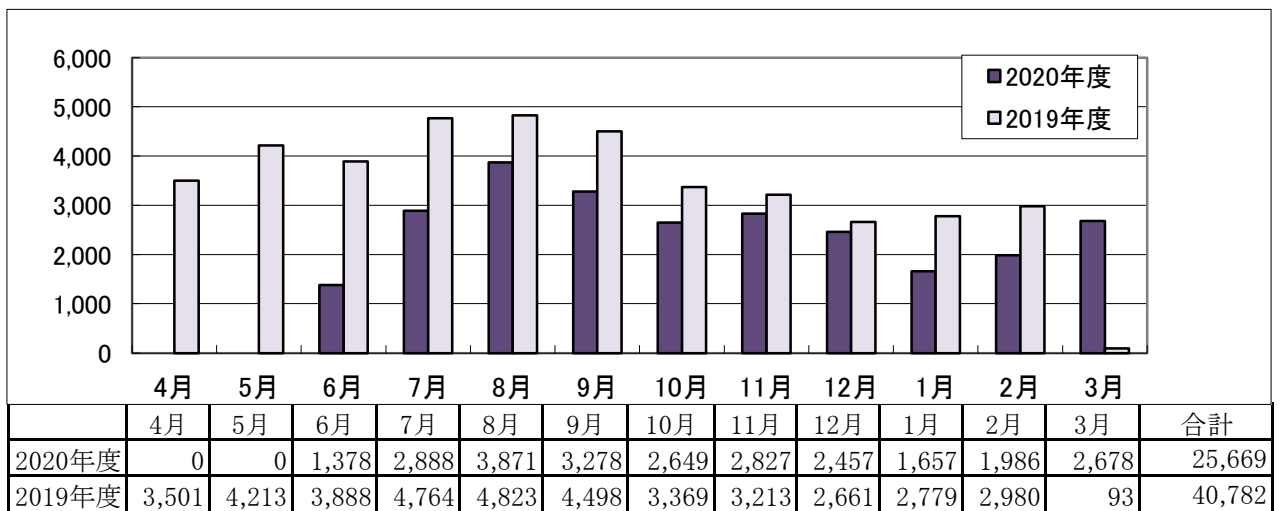
	個人利用料 収入額(円)	減免利用料(円)				利用人数(人)				
		グリーンパス	特保	無料券	合計	個人	グリーンパス	特保	無料券	合計
2020年度	742,000	264,150	12,900	30,900	307,950	1,638	1,761	43	103	3,545
2019年度	1,279,940	496,800	4,500	60,000	561,300	2,697	3,312	15	200	6,224
増減	-537,940	-232,650	8,400	10,800	-253,350	-1,059	-1,551	28	-97	-2,679

カ 第一、二、三体育室月別利用状況

単位(人)

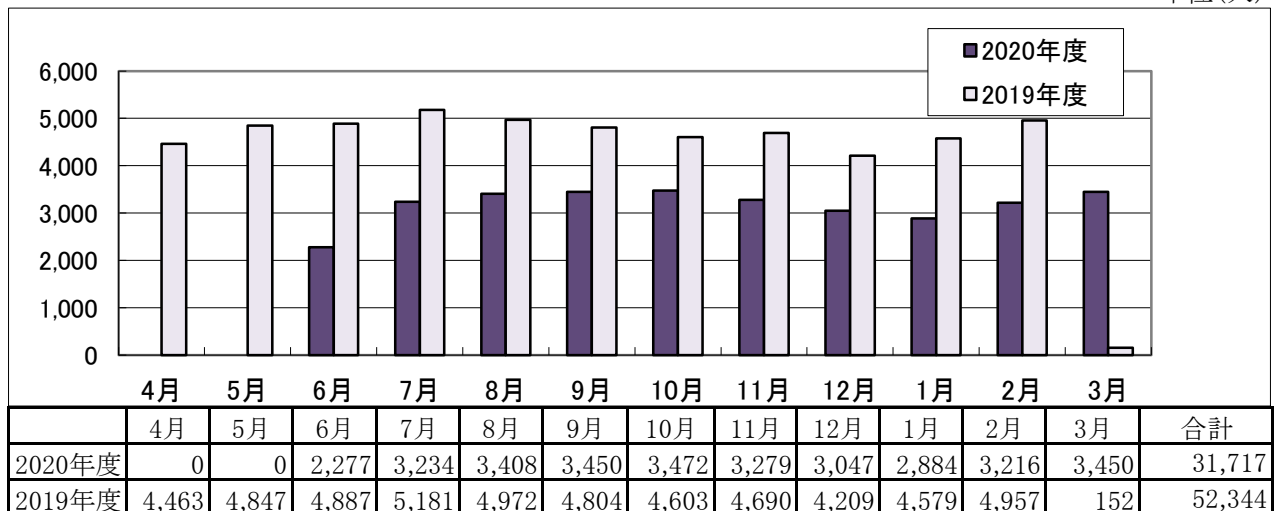


キ 室内プール月別利用状況



ク トレーニング室月別利用状況(くにたち南市民プラザを含む)

単位(人)



(4) 有料公園施設等の利用状況

ア 利用料収入

単位:円

	利用料収入額			
	テニス	野球	サッカー	合計
2020年度	16,007,550	930,175	312,000	17,249,725
2019年度	16,271,150	1,470,000	395,500	18,136,650

減免利用料

単位:円

	減免利用額			
	テニス	野球	サッカー	合計
2020年度	91,800	2,794,175	647,400	3,533,375
2019年度	665,700	3,822,500	875,000	5,363,200

イ テニスコートの利用状況

単位:1面1時間

	テニスコート			
	谷保	矢川	広場	合計
2020年度	7,623	7,132	10,359	25,114
2019年度	8,310	7,688	10,020	26,018

テニスコートの利用率

単位:1面1時間

	テニスコート利用率			
	谷保	矢川	広場	平均
2020年度	75.70%	71.05%	66.61%	71.12%
2019年度	87.75%	81.12%	66.40%	78.42%

ウ 野球・サッカーの利用状況

単位:1面1時間

	野球場				サッカー	合計
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	小計		
2020年度	2,100	2,978	1,209	6,287	1,504	7,791
2019年度	2,319	2,373	1,274	5,966	1,151	7,117

野球・サッカーの利用率

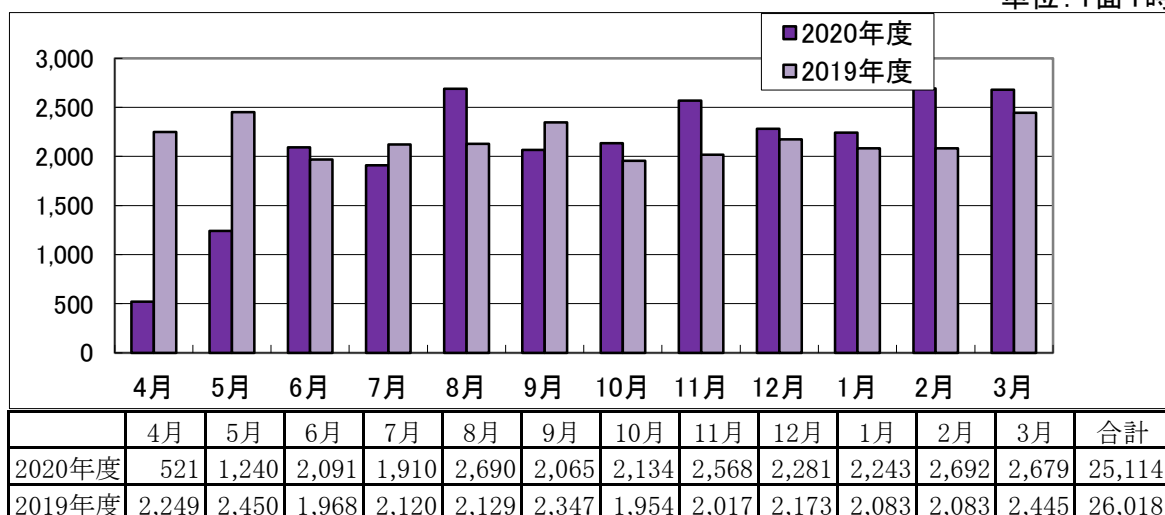
単位:1面1時間

	野球場利用率				サッカー場利用率	平均
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	平均		
2020年度	64.77%	46.41%	47.21%	52.80%	46.59%	51.25%
2019年度	69.87%	61.41%	48.28%	59.85%	58.49%	59.51%

* 2019年度は河川敷有料公園施設(野球場・サッカー場)が台風の被害により、5か月半の期間使用できなかったため、河川敷ABとサッカー場の利用率が逆転している。

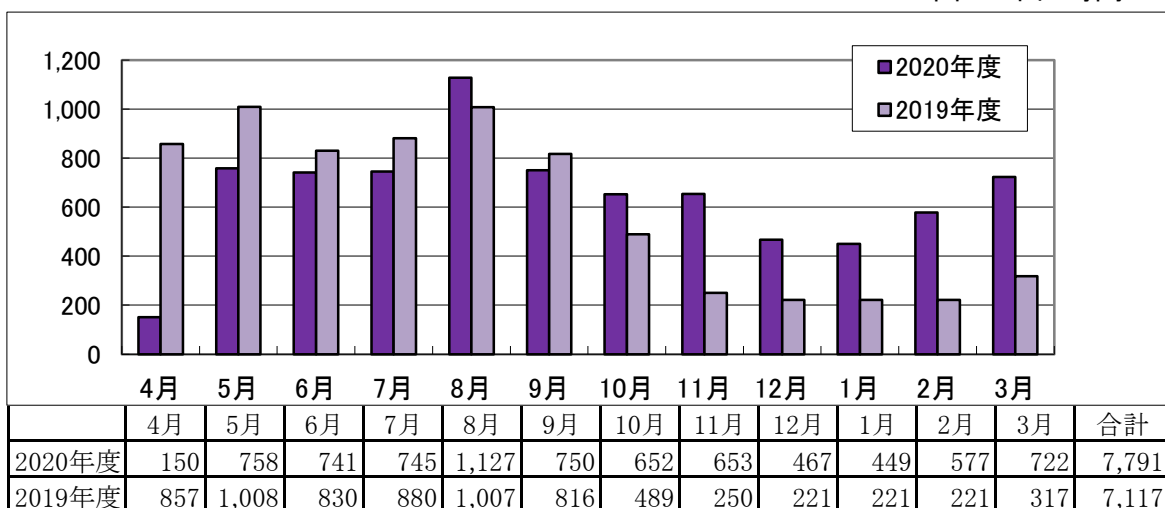
エ 谷保・矢川・広場テニスコート月別利用状況

単位：1面1時



オ 野球・サッカー月別利用状況

単位：1面1時間



※新型コロナウイルス感染症防止対策により緊急事態宣言が発令され、有料公園施設は、4月8日～5月6日まで閉鎖したことにより利用時間が減少している。

3. 管 理

(1) 役員及び役員会等に関する事業

ア. 理事、監事及び評議員等の名簿

(ア) 理事

(2021年3月31日現在)

役職名	氏名	任 期	常勤・ 非常勤	当法人以外の役職
理 事 長	竹内光博	2019年5月30日から2年以内に 終了する事業年度のうち最終 のものに関する定時評議員会 の終結の日まで	非常勤	国立市副市長
常務理事	高橋一成	〃	常 勤	公益財団法人くにたち文化・ス ポーツ振興財団事務局長
理 事	雨宮和人	〃	非常勤	国立市教育委員会生涯学習・ 文化・スポーツ推進担当部長
〃	池田良二	〃	〃	武蔵野美術大学名誉教授
〃	小澤孝造	〃	〃	国立の自然と文化を守る会 名誉会長
〃	金子一秀	〃	〃	東京女子体育大学・東京女子 体育短期大学学長
〃	武田忠善	〃	〃	国立音楽大学学長
〃	峰岸秀征	〃	〃	国立市体育協会会長

(イ) 監事

(2021年3月31日現在)

役職名	氏名	任 期	常勤・ 非常勤	当法人以外の役職
監 事	木村淳二	2019年5月30日から4年以内に 終了する事業年度のうち最終 のものに関する定時評議員会 の終結の日まで	非常勤	税理士
〃	佐藤収一	〃	〃	会社会長

(ウ)評議員

(2021年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
評議員	尾崎良一	2019年5月30日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	国立市体育協会理事長
〃	笠間信也	〃	〃	NPO国立市動物調査会理事
〃	佐伯安子	〃	〃	くにたちの暮らしを記録する会 会長
〃	坂なつこ	〃	〃	国立大学法人一橋大学大学院 社会学研究科教授
〃	塩野啓子	〃	〃	塩野啓子バレエスタジオ代表
〃	宍戸彰	〃	〃	くにたち市民オーケストラ団員
〃	山井佳代子	〃	〃	会社会長
〃	綿引康司	〃	〃	たましん地域文化財団理事
〃	和田哲	〃	〃	国立市文化財保護審議会委員

イ. 理事会等の開催

(ア)理事会

a 議事事項

開催年月日	件名	会議結果
2020年5月14日	第1号議案 定時評議員会の招集(案) 第2号議案 2019年度事業報告(案) 第3号議案 2019年度決算(案) 第4号議案 理事候補者(案) 第5号議案 財政調整積立預金設置要綱(案)	可決 可決 可決 可決 可決
2020年10月15日	第6号議案 臨時評議員会の招集(案)	可決
2021年2月18日	第7号議案 臨時評議員会の招集(案) 第8号議案 2021年度事業計画書(案) 第9号議案 2021年度収支予算書(案)と資金調達及び 設備投資の見込みを記載した書類(案)	可決 可決 可決

b 協議事項

開催年月日	件名	備考
2020年10月15日	協議事項① 2021年度事業計画作成に伴う協議	

c 報告事項

開催年月日	件名	備考
2020年5月14日	報告事項① 運営組織及び事業活動の状況の概要等について 報告事項② 寄附金等特定資産の運用の状況について 報告事項③ 嘱託員の設置に関する要綱の一部改正について 報告事項④ 文化・スポーツ事業助成要綱の一部改正について	
2020年10月15日	報告事項① コロナ関連に伴う事業計画の変更について 報告事項② 理事長・常務理事の職務の執行状況	
2021年2月18日	報告事項① 理事長・常務理事の職務の執行状況 報告事項② 嘱託員の設置に関する要綱の一部改正について	

(イ) 評議員会

a 議事事項

開催年月日	件名	会議結果
2020年5月29日 (書面によるみなし決議)	第1号議案 2019年度決算案 第2号議案 理事の選任	可決 可決
2021年2月26日	第3号議案 2021年度事業計画案 第4号議案 2021年度収支予算案と資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類	可決 可決

b 協議事項

開催年月日	件名	備考
2020年10月30日	協議事項① 2021年度事業計画作成に伴う協議	

c 報告事項

開催年月日	件名	備考
2020年10月30日	報告事項① コロナ関連に伴う事業計画の変更について	
2021年2月26日	報告事項① 理事長・常務理事の職務の執行状況 報告事項② 嘱託員の設置に関する要綱の一部改正について	

※その他の報告事項は含みません。

(ウ)監査

開催年月日	監査事項
2020年5月7日 決算監査	2019年度決算書 2019年度事業報告書
2020年11月9日 中間監査	2020年度収支決算書(上半期分) 2020年度事業報告書(上半期分)